

早川よしゆき 市政報告

第27号

安全で効率的な医療を実践し、 進化・発展を続ける福山市民病院 五月新棟西館オープン



完成予想図



新棟西館の移転作業や
開設準備が終わり、既存
の本館の改修工事も順次
行い、全ての工事完成は、
本年十二月の予定です。
今後の医療を取り巻く

環境は、団塊世代の高齡
化等により、今以上に
ん医療、救急医療のニ
ーズが増加するとともに、
IPS細胞に代表される
医学・医療の進展やより
高度化する医療機器など
があり、大きな変化が予
測されます。
506床の大規模病院
という新しいステージで
時代のニーズや変化に即
応した質の高い医療を実
践し、市民に信頼される
地域の中核病院としての
役割を持続的に果たして
いくことが、市民病院に
とって課せられた大きな
使命です。
今後とも、医療機能や
医療体制の充実を図り、
やさしく安全で効率的な
医療が期待されます。

福山駅が一部改修

JR西日本は、福山市
議会からの要望を踏まえ、
福山市とも協議の末福山
駅における一部改修計画
を見直しました。西側建
築物の南側壁面を約80cm
後退させ、さらに両角に
約5mの隅切りを設ける
等、福山駅や駅前広場利
用者にとって安心・安全
な施設となるよう配慮す
るとともに、本市の玄関
口にふさわしい景観を創
出するよう外観のデザイ
ンも工夫していただいで
います。また、五浦釣人
像は現在地から西側15m
の位置に移設されます。



南側から見た福山駅のイメージ。駅前広場の構造物等が省略されています

福山市民病院 加茂診療所の 跡地利用について



廃止となった加茂診療所

昨年十二月議会にお
いて「福山市民病院事業
の設置に関する条例の一
部改正」の議案が提出さ
れ、賛成多数で可決され
ました。外来患者の減少
や医師不足など加茂診療
所を取り巻く状況は非常
に厳しくなり、その歴史
的使命を終えることにな
りました。

そこで跡地利用につい
て、福山市の公共施設の
あり方は、複合化、転用、
長寿命化、法人移管など
であり、利用を廃止した
公共施設は売却処分が基
本になっています。
しかし、地元に住む
我々住民にとりまして、
この加茂診療所の跡地利

用は、北部地域の更なる
発展、協働のまちづくり
を進めていくうえで、非
常に重要な課題だと思
います。皆様方の町内会や
その他の民主団体の中で
十分議論され、地元とし
ての考え方がまとまれば
と思いますし、皆様と
もに考えたいと思います。

福山マラソンに 参加

去る3月17日、竹ヶ端
運動公園陸上競技場を中
心に福山マラソンが開催
されました。ハーフマラ
ソンや10km・3kmのマラ
ソンに加え4kmのウォー
キングコースが設定され、
私は4kmのウォーキング
に参加しました。950
名あまりの参加選手の中
36位、参加議員のなかで
は断トツでした。皆さん
も是非参加してみてください。



早川佳行の
主な役割
59才

福山市議会議員

五期目

総務委員会 委員

行財政改革特別委員会

委員

福山市個人情報

保護審議会 委員

福山市社会教育委員会

委員

ふくやま美術館及び

書道美術館運営委員会 委員

年4回本会議ごとに発行し
ますので、ご意見、ご希望
などをお聞かせ下さい。

早川 佳行

発行者

福山市議会 水曜会
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂 1901
電話 972-3195
事務所 福山市加茂町上加茂 265
電話 972-8999
FAX 972-2093

水曜会

第27号

平成25(2013)年4月発行

発行者 福山市議会 水曜会
 住所 〒720-8501
 福山市東桜町3番5号
 電話 084-928-1123
 F A X 084-920-1104



はらのまち福山

三月定例市議会

本議会は、二月二十七日開会。三月二十一日には、平成二十五年度一般会計予算案と補正予算案など57議案は、原案どおり賛成多数で可決しました。

長引く不況で、市税の減収等を、臨時財政調整基金の活用や財政調整基金で補う

歳入の根幹をなす市税は、704億4150万円で前年並みを見込み。その内法人市民税は、景気回復も見込み2・2%減の52億1900万円。市債全体は、9・1%



市議会議場に国旗と市旗を掲揚

平成25年度予算状況

	前年度比
一般会計	1,622億円余 ▲2.3%
特別会計	927億円余 ▲5.5%
企業会計	600億円余 ▲4.3%
合計	3,150億円余 ▲3.6%

平成24年度3月補正予算状況

(1次)		(2次)	
一般会計	30億円余	一般会計	30億円余
特別会計	—	特別会計	4億円余
企業会計	9億円余	企業会計	2億円余
合計	40億円余	合計	36億円余

平成25年度の主な新規・重点事業



- 100万本のはらのまちづくり推進事業 1億3,892万円
- 中心市街地の魅力創出事業 1億3,428万円
- 持続可能なまちを創る為の人材育成 684万円
- 小中一貫教育の推進 678万円
- 交通施設バリアフリー整備・歩道整備 3億8,000万円
- 次世代エネルギーパーク基本計画策定 522万円
- 障がい者、高齢者の相談支援事業 9,016万円
- 夜間成人診療所運営費 8,132万円
- 山陽道福山SAにスマートIC整備 3,000万円
- 新事業創出支援事業 200万円
- 鞆地区まちづくり推進事業 3億7,401万円

※平成25年度の内海町・新市町・沼隈町・神辺町の合併建設計画分は、別途計画に沿って実施。

歳出では、生活保護費が減る一方で、障がい福祉サービスの拡充などから、扶助費は過去最高の

障がい福祉サービスの拡充などで、扶助費が過去最高

減で、臨時財政対策債を除く市債残高は、大規模事業の終了で総額約1616億円、前年度から約37億円減少する見込みです。財源不足を補う為財政調整基金から前年度比約3億円増の15億円を取崩しています。財政調整基金の残高は123億円となります。

校舎耐震化など40億6000万円を補正

一次補正は、緊急経済対策として国から交付される財源等を活用し、総額40億6000万円を補正し、市民生活に関わり

421億493万円。人件費は、職員数の計画的な削減などで2・2%減の301億円です。都市基盤に関わる投資的経費は、大規模事業の終了や、補正予算へ公共事業を前倒しした影響で31%減の102億4381万円。重点政策は、教育や安心安全などの5分野に、市政施行100周年に向けての関連施策を柱としています。

水曜会は、行財政改革・効率的財政運営を求め、賛成

本市にあつて行政需要が増大する中、特に社会保障関係費は障がい福祉サービスの増など、厳しい財政状況ではあるが人口減少、高齢化時代、加えて市制百周年に向けて豊かさが実感でき、将来に向け持続的発展を

の深い施設等の整備に取り組めます。主な事業は、小学校の校舎などの耐震補強改修費や東福山駅エレベーター設置、道路舗装工事、交通安全施設整備などです。二次補正は、競馬事業廃止に伴う繰出金や公債費、その他制度上必要なものです。

水曜会有志 福山マラソン出場



指すとともに、行政二一ズに添えて、新年度は真の豊かさの実現に大きく進める為の編成となっている。創意と工夫により、概ね前年並みの予算編成であり、行財政改革・効率的財政運営を求め、賛成。

水曜会 代表質問



神原孝已議員

今回の水曜会代表質問は、神原孝已議員で、市長の政治姿勢や、行財政改革、国保行政など35項目にわたり、市長・教育長の見解を求めました。詳細は、五月一日発行の「福山市議会だより」に掲載します。